

本誌は、(株)インプラテックスとお取引をいただいておりますお客様に、インプラント治療に関連したあらゆる情報を提供するために隔月発行し、お届けするニュースレターです。

## 臨床レポート

### Piezosurgery® クラウンプレップ用チップを使用したマージン部形成とそのメリット

福岡県 丸谷歯科歯周クリニック 丸谷純一郎

審美補綴への要求が近年益々高まっている。審美補綴を成功へ導く各ステップのうち、形成、印象は重要なポイントである。その中でもセラミック補綴マージン部の形成、印象は特に注意を要する。

セラミック補綴マージン部の形成ではラウンドドショルダー形成やヘビィシャンファー形成等が求められる。マージンの位置は歯肉縁下に設定することが殆どだが、注意すべき点として、マージン部がスキージャンプ台のようになるジャンピングショルダーがある。

これは、圧排コードを巻いたまま形成する場合、回転するバーにコードが巻きつくことを避けるよう、マージン付近をコードに触れない様に形成するために、鋭角な部分が残ることが原因であると考えられる。

又、コードを巻かずに形成する場合でも、器具等で圧排しながらの形成となり、回転するバーが器具に触れるため、バーを思うように動かせず、やはり鋭角なマージンラインとなり易い。

この鋭角なマージンラインは、たとえ正確に印象が採れたとしても、模型を作製する段階で鋭角の部分が欠落し、補綴物の致命的不適合を招くことになる。

ジャンピングショルダーの有効な解決策の一つとして、Piezosurgery® のクラウンプレップ用チップの使用がある。

クラウンプレップ用チップ使用の最大のメリットは、Piezosurgery® が硬組織のみ削削し、軟組織にダメージを与えないという点と、圧排コードの巻きつきを起こさずにマージン

ラインの仕上げが出来ることである。

筆者は次の様な手順で形成している。まず、二重圧排し、タービンのバーでコードに触れない様に縁下まで削り、全周に残った鋭角の部分 Piezosurgery® で削って、フラットにしていく。

Piezosurgery® による仕上げの際、チップ先端がコードに触れても巻きつきを起こさないため、ストレスなく正確なマージンラインの最終形成が行える。

自費の形成に Piezosurgery® を取り入れることで、形成時の精神的負担が大幅に軽減した。メンテナンスも、形成時に生理食塩水を使わず精製水を使用することで、使用後何回も洗浄する必要はなくなる。

#### 形成中のポイント

- 形成ライン上の凸凹を確認する際には、振動を止めたチップの先端で行うと効率的である。勿論、最終確認は目で行う必要がある。
- 注水量は多すぎない方が視野が良い。
- チップのアームの部分が結構熱を持つため、注意して操作する必要がある。

筆者としては、チップの摩耗がもう少し遅くなるよう改良されることを期待したい。

しかし、結論としては、Piezosurgery® を使用することで、ストレス無く、正確なマージンラインを得ることが出来る実感している。



図.1

クラウンプレップ用チップ(左)。チップはホルダーへ自在に装着が可能で、あらゆる方向へのアクセスを可能にする(右)。



図.2

最後臼歯のケース。ホルダーのカーブを利用し、マージンの全周を形成。



図.3

印象。全周理想的なマージン形成を確認できる。



図.4

前歯部のケース。歯肉縁下の形成も、歯肉を傷つけないため、安心して作業ができる。



図.5

全周のマージン形成。圧排コードが巻きつく心配はない。



図.6

やはり、全周チップがアクセスし、理想的な形成を確認できる。